

内閣総理大臣 安倍 晋三殿  
東京都知事 小池百合子殿

### 都市計画道路の抜本的見直しを求める署名

(取扱団体)  
東京都特定整備路線連絡会 (代表者) 柴田 裕  
東京都豊島区池袋本町 3-22-20 090-6482-5064  
都市計画道路問題連絡会 (世話人) 長谷川茂雄  
東京都杉並区松庵 1-4-5 090-5672-3991

いま、世界では地球環境保全・持続可能な社会の実現をめざしたとりくみが精力的にとりくまれています。一方、東京都においてはこれと逆行する東京大改造計画が推進され、その基盤整備のいっかんとして都市計画道路の建設が遮二無二にすすめられており、沿線各地で住民追いだし、住環境破壊、商店街分断などの深刻な被害がもたらされています。

一方、全国の自治体では、国が2000年に発表した「都市計画運用指針」にもとづく都市計画道路の見直しがとりくまれ、着工済みの路線を廃止した名古屋市をはじめ、すでに2356路線、2645kmの道路が廃止(2016年3月末)されるに至っています。

にもかかわらず、東京都は計画の見直しに背をむけ、廃止路線はわずか2路線にとどめられています。また、小池百合子都知事は都市計画道路について「大胆に見直しをすすめていきたい」(2016年の都知事選挙での市民団体の公開質問状への回答)と表明したにもかかわらず、その約束は反故にされ、逆に道路建設が加速させられているのが現状です。

こうしたもとの、国は「骨太方針 2017」で「都市計画道路の見直しを加速する」ことをうちだし、国土交通省も「都市計画道路の見直しの手引き」を発表、さらなる見直しをすすめています。

現在、東京都では鉄道、地下鉄、バス路線などの公共交通機関が重層的に整備され、道路も網の目のように整備されているなど、不要不急の道路の建設の必要は見当たりません。また、都市計画道路のおおくが戦後直後に計画されたもので4分の3世紀を経た今日、建設に合理性は認められず、くわえて、整備理由としている延焼遮断効果も科学的根拠に乏しく、かつ、莫大な税金が費消されるもので、抜本的な見直しは当然です。

#### (要 請 事 項)

1. 東京都は都市計画道路の抜本的見直しをおこなうこと
2. 国は都市計画道路の事業認可を白紙にもどし、見直しを推進すること。

氏 名	住 所

\*この署名は目的以外には使用しません